

# 申立書

年 月 日

小平市長 殿

所有者 住所 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ 印

このたび、私が建築または取得しました下記家屋は、現在のところ未入居の状態にありますが、自己の住宅の用に供するものに相違ありません。

## 記

### 1 家屋の表示

所在地 小平市 \_\_\_\_\_ 町 \_\_\_\_\_ 丁目 \_\_\_\_\_ 番地 \_\_\_\_\_

家屋番号 \_\_\_\_\_

### 2 家屋の住居表示（※住居表示未実施地区の場合は記入不要です。）

小平市 \_\_\_\_\_ 町 \_\_\_\_\_ 丁目 \_\_\_\_\_ 番 \_\_\_\_\_ 号 \_\_\_\_\_

### 3 入居予定年月日

年 月 日

### 4 現在の家屋の処分方法と添付書類（該当する□に✓点を記入してください。）

- 売却する（売買契約書 専任媒介契約書 その他 \_\_\_\_\_）
- 賃貸する（賃貸借契約書 専任媒介契約書 その他 \_\_\_\_\_）
- 自己所有でない（賃貸借契約書 使用許可証 社宅証明書 その他 \_\_\_\_\_）
- 親族が住む（同居親族の申立書 その他 \_\_\_\_\_）
- その他（ \_\_\_\_\_ ）

### 5 入居が登記の後になる理由（該当する□に✓点を記入し、理由に関する書類を添付してください。）

- 抵当権設定を急ぐ 前住人が未転出 本人または家族の傷病等
- その他（具体的な理由： \_\_\_\_\_）

なお、証明書交付後、この申立書に虚偽があることが判明した場合には、証明を取り消され、税額の追徴を受けても異議ありません。